



令和6年台風10号の竜巻被害調査速報 宮崎県は竜巻の約7割が台風に起因、その多くが同時多発型

ポイント

- 令和6年台風10号によって発生した竜巻における宮崎県の被害調査速報、内1事例は気象庁未認定
- 過去の竜巻被害を精査したところ、竜巻の約7割が台風に起因することを発見
- 台風に起因する竜巻の約7割が、令和6年と同様の同時多発型であることを発見

【概要】

竹下伸一准教授（宮崎大学農学部森林緑地環境科学科）、服部達哉氏（宮崎県農政水産部農政企画課）、田村真理子氏（宮崎県農政水産部農業普及技術課）、小田大和人氏（宮崎県農政水産部農業普及技術課）の研究グループは、令和6年台風10号による宮崎県における竜巻被害をとりまとめた。うち竹下准教授は、宮崎市南部エリアを中心に実施した調査から、被害地域を特定したところ、少なくとも2事例の竜巻が発生したと考えられ、内1事例が現時点で気象庁速報では未認定になっていることが判明した。過去の竜巻被害報告を精査し、統計的な特徴を分析したところ、宮崎平野では特に多くの竜巻が発生していること、竜巻の約7割が台風に起因していること、台風中心が宮崎県の南西約200km付近にあるときにとくに竜巻が発生していること、台風に起因して発生する竜巻の約7割が、令和6年の時と同様に同時多発型であることが判明した。

【背景】

令和6年8月28日から29日にかけて、宮崎県内に多くの竜巻とみられる突風が発生した。当時九州には台風10号が接近中であり、豪雨による災害発生が懸念されていて、浸水害等に対する警戒がピークに達するなかであったが、意表を突く形で竜巻とみられる突風の被害報告が駆け巡った。宮崎大学大学院農学工学総合研究科防災環境研究センター所属で、農業気象学を専門とし、かつ防災士でもある竹下伸一准教授は、その直後から現地入りして被害地域での調査と聞き取りを開始し、被害を目の当たりにした。要因等を調べるために過去の宮崎県における竜巻被害の報告を整理する中で、宮崎県は台風に起因する竜巻が多いこと、このことはこれまでも度々警告されていたことを知り、改めて精査する必要があることに思い至り、今回の調査となった。

【成果】

本調査の結果、令和6年台風10号による竜巻とみられる突風被害が、宮崎県では少なくとも8事例あったこと、内1事例は現時点で気象庁のデータベース等では未認定になっていること、農業関連施設の被害も甚大であること、宮崎県は台風に起因する竜巻の発生が非常に多いこと、とくに台風中心が種子島・屋久島付近にあるときに多くの竜巻が発生していること、そしてその多くが同時多発型であること、といった多くの貴重な知見を得ることができた。

【展望】

宮崎県では平成18年(2006)に延岡で発生した台風13号に伴う竜巻被害発生時に、竜巻に対する警戒

心が高まり、多くの関連研究・報告がされた。しかし、それ以降顕著な被害がなかったこともあって、令和6年（2024）までの約15年間の間に警戒心が薄れ、知見の蓄積も少し停滞していたと感じる。今回の成果で、改めて宮崎県では台風接近時に、豪雨や浸水害への警戒に加え、竜巻等の突風被害へも備える必要があることが示された。県内の防災関係機関等と連携をとりながら、この点についてさらに県民への啓蒙等に寄与していきたいと考えている。

本研究成果は、2025年3月1日発行の農業農村工学会誌「水土の知」（（公）農業農村工学会発行）に掲載される。

農業農村工学会誌「水土の知」：<https://www.jsidre.or.jp/journal/>

農業農村工学会：<https://www.jsidre.or.jp/>

【掲載情報】

竹下伸一、服部達哉、田村真理子、小田大和人（2025） 宮崎県の令和6年台風10号に伴う竜巻被害と台風由来竜巻の特徴、水土の知 93(3): 1-5.



図1. 調査で確認した宮崎市における竜巻被害地点。赤江～城ヶ崎～和知川原～小松地区をつなぐ被害群は気象庁未認定の被害群。

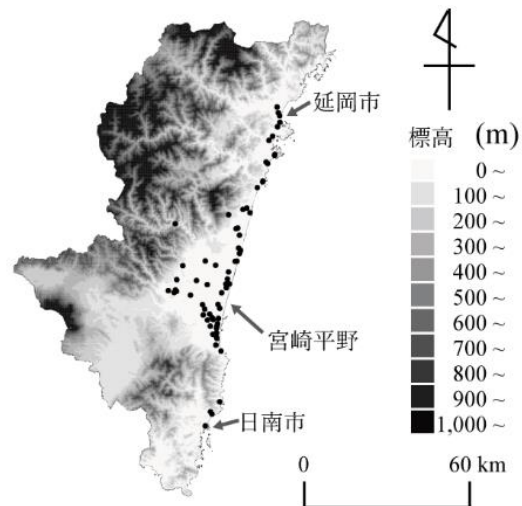


図 2. 昭和9～令和6年の宮崎県における台風由来の竜巻発生地点。沿岸部に集中していること。宮崎平野にとくに多いことがわかる。

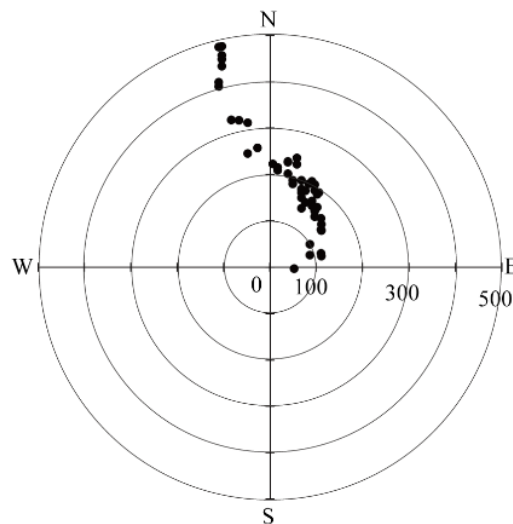


図3. 昭和 26～令和6年に宮崎県で発生した竜巻の台風の中心位置からの距離のグラフ。台風中心から北東側 200km ぐらいの場所で竜巻が頻発している。これは種子島・屋久島付近に台風中心があるときに相当する。

【発信元】

企画総務部総務広報課

TEL:0985-58-7114 e-mail:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

【研究に関する問合せ先】

農学部森林緑地環境科学科 准教授 竹下伸一

TEL:0985-58-7236 e-mail:rtakeshita@cc.miyazaki-u.ac.jp